

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「悪い円安」は本当なのか

6月の半ば、ドル/円相場が一時135円前半まで売り込まれ24年ぶりの円安水準をつけました。昨年大晦日に115円前後だったところから半年で約20円の円安です。米国内の物価上昇は凄まじく、コロナ危機回避の為に「何でもあり」とも映る相次ぐ景気対策の結果、過度な流動性を生み、FRBがその後始末に追われ金利引上げ誘導です。

一方、日本国内では日銀による金融緩和継続のアナウンスが鳴り響く状況なので円安は当然の流れです。

このところの円安を取り上げて「悪い円安」論が賑やかです。ドル決済の資源・燃料は円流出を加速させ対外収支は赤字国に転落、それを投機筋に円売り材料として囃され円安サイクルの出来上がりです。

かつて海外市場を席捲した輸出強者の国際優良企業が日本にはゴロゴロありました。日本企業が世界中で勝ち過ぎた結果、対日制裁的な円高誘導が仕掛けられ1ドル・75円となったとき、日の丸製造業の命運は尽きました。

今や悲しいかな、日本企業の競争力復活を危惧する円安警戒論はどこからも聞こえてきません。円安は輸入物価を押し上げるので、相対的に国産品の価格競争力が回復します。日本経済にとっては「悪い円安」よりはるかに「良い円安」が優位にあるのです。これは元寇以来の神風かもしれません。



当社では毎年、多くの高卒生を迎え入れております。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路検討に当社を加えてください。新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしく願い申し上げます。

松本 隆一郎